

1. 平成 29 年度 自治会活動インセンティブ補助金事例

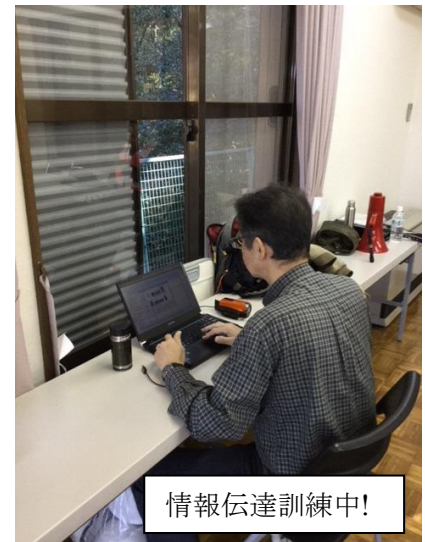
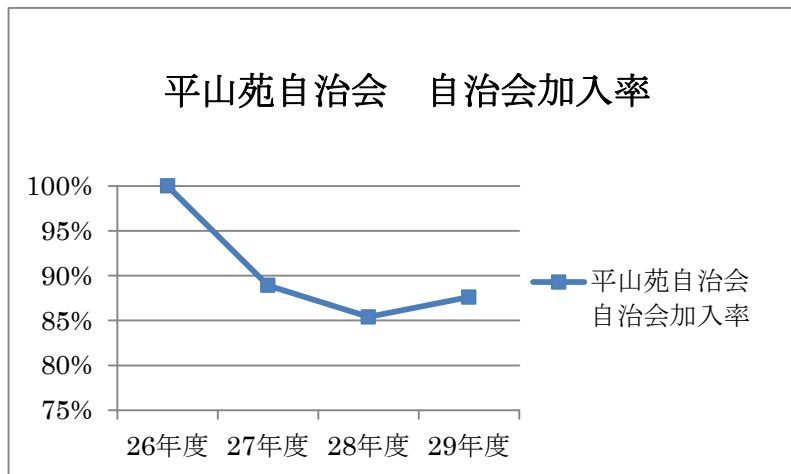
日野市では自治会加入率の低下がみられますが、自治会活動インセンティブ補助金を活用し、地域の課題解決に取り組んでいる自治会で自治会加入率が上昇した自治会を紹介いたします。

「災害時における初期情報の収集と公的機関との情報伝達訓練」



■平山苑自治会

- 自治会の特徴
自治会設立 昭和 44 年
加入率 87.6% (平成 29 年度)
- 地域の課題
 - ・南東に崖面、急勾配の坂道、道路の狭幅員、空き家の増加
 - ・高齢化、自治会執行役員の辞退 等
- 自治会の目指す姿
明るく住み良いまち
- インセンティブ補助事業内容
黄色いハンカチ運動と情報伝達訓練



平山苑自治会

平山苑自治会の南東には崖があり、地域の課題の 1 つになっています。インセンティブ補助金を使った事業も、災害に対応するための黄色いハンカチ運動と情報伝達訓練を行いました。この事業は自治会未加入者にも声をかけて、地域全体で実施しています。

黄色いハンカチ運動は、大きな地震があった際に、「大丈夫」の場合には黄色いハンカチを掲出し、何も出ていないところに声をかけていくというもので、情報伝達訓練は、ビデオで撮影した地域の状況を公的機関に送信する訓練です。

平山苑自治会がインセンティブ補助金の交付を受けたのは、平成 28 年と平成 29 年で、両年とも黄色いハンカチ運動をベースにして取り組んでいます。課題に対して地域の力を結集して立ち向かっていこうとする平山苑自治会の姿は、少しずつ地域を変え始めているのかもしれない。